

第10回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

- 1 日 時 平成22年5月20日(木) 14:00~16:40
- 2 場 所 田原市役所南庁舎講堂
- 3 出席者 ○委員19名 山本和子(会長)、中村都祁子(副会長)、大羽通之、鈴木佳余子、山本達夫、田中敢、中西秀一、森下静子、荒木英夫、大久保哲夫、小久保恭子、杉山礼子、櫻井貫二、太田由紀夫、大羽チズエ、朝倉登喜子、加子幸子、永田みよ江、渡会里美
(欠席6名:伊藤立、渡辺清子、河合美恵子、山本明子、杉浦拡、平野利依)
○事務局3名 渡邊市民協働課長、鈴木副主幹、広中主任
- 4 会議録署名委員 大久保哲夫、小久保恭子
- 5 議題
 - (1) 各委員の取組状況報告
 - (2) 市の取組状況について
 - ア 平成21年度田原市男女共同参画推進プラン実績報告
 - イ 平成22年度田原市男女共同参画推進プラン関連事業
 - (3) 平成22年度懇話会実践事業について
 - ア 平成22年度重点推進テーマ
 - イ 具体的取組について
 - (ア) 普及啓発事業について
 - (イ) 第3回男女共同参画フェスティバル&あいち国際女性映画祭について
 - (ウ) その他
 - (4) 市女性職員高島屋研修報告
 - (5) 意見交換
 - (6) その他
- 6 議事要旨

●議長 山本会長

●委員異動の紹介 … 事務局報告

- ・旧委員)大羽 敏 → 新委員)山本 達夫 ※田原市総代会
- ・旧委員)松本 耕治 → 新委員)中西 秀一 ※田原市社会福祉協議会
- ・旧委員)石井 敦子 → 新委員)小久保恭子 ※渥美商工会
- ・旧委員)小久保京子 → 新委員)杉山 礼子 ※田原市商工会
- ・旧委員)鳥居 和子 → 新委員)大羽チズエ ※田原市防災会議

(1) 報告

①各委員の取組状況について … 各委員報告(資料1)

◀報告内容・関連意見▶

- 6月の全国集会には、田原市のフェスティバルに展示できるものがないかという気持ちで参加する。2月には行政相談委員と人権擁護委員との意見交換会開催を提案している。1月の行政相談委員自主研修会では、男女共同参画についての様々な意見交換できるように進めていきたい。
- 市民館活動では、男性よりも女性のグループのほうが、スポーツ、料理、健康体操など、活

発にやっている。

- 全体的に見て、離婚が増加している。男女どちらが悪いかわからないが、性格の不一致など、私の地区でも2組、3組離婚しているのが、現実である。
- 男女共同参画推進の取組というのは、懇話会だけではなくて、あらゆる場面、あらゆるメンバーの中、あらゆる時間・空間を越えたところで、横軸となるような形で機能していくことがとても大切ではないかという視点で行う。①5月30日の「ロジカルシンキング」是非、いらしていただきたい。②11月28日、中山市民館の校区のみなさんの学習の機会として事業を実施。③今年度、福江中学校へ出向いて、人権教育という意味でも、男女平等意識の大切さの向上について、自分自身の学習も含め、深めていきたいと思う。
- 実際に、出席して感じたこと書いてある。地域の総会では、男性の中に女性一人というのは心細いかぎりだった。農地・水・環境の会議では、既存の団体の中にNPO関係が入るのも、浮いた存在であった。固定的役割意識を解消するには、男女同数の役割にするしか解決はないのかなと思う。

◆《関連意見》

- ・中山では、市民館の主事が女性グループと交流があり、一生懸命いろいろと進めてくれている。
 - ・生活改善グループでいろいろなことに参加してくれている。グループを作ってくれば、校区としては、「是非、お願いします」と来ると思う。そういう組織があると、校区としては、非常に助かる。
 - ・当り前のように男性が代表で、女性が代表になるために、女性だけの団体を作るというのは、非常に違和感がある。
 - ・「私が、自治会長をやります」と言ってくればいいが、女性では、やり手がない。絶対受けてくれない。
 - ・童浦校区では、婦人会が無くなった時に、様々な活動には女性の力がいるということで、婦人会とほぼイコールのような中身で、各戸1人の女性を出して、女性クラブを作り、ずっと続いている。自治会長さんや地域の方々からお願いすれば、各地域でできるのではないかと思う。
 - ・防災など、絶対必要なものについて、市のほうから各自治会に女性のグループではなくて、男性も女性も一緒になった防災のグループを作ってくださいという呼びかけは無いのか。
 - ・市の呼びかけで、どこの校区にも自主防災会の組織があると思う。組織は、自治会の役員プラス自衛消防隊というのをに入れて、男性ばかりである。だいたいどこでも一緒だと思う。ただ亀山の場合は、世話人ということで、各せこで一人ずつ女性が出て、炊出しは、その人たちがしてくれる。どこの校区も女性の炊き出しというのはあると思う。中山も婦人部がある。
 - ・数年前に、いろいろな災害が起こったときに、女性が入っていないことで、非常に困った事例がたくさんある。計画を立てる段階から女性を入れなくてはだめ。守りきれないことが出たりする。
- 会に集まってくる人たちは、まだまだ自分の思いを十分に出すことができない人が多い。いろいろな活動に参加しながら交流し、それぞれ自分の生き方について見つめてもらい、その人たちから見た、男女の隔たりが物語として捉えることができるようになるといいなと思う。

②市の取組状況について … 事務局説明（資料2、資料3）

- ・平成21年度田原市男女共同参画プラン実績報告
- ・平成22年度田原市男女共同参画推進プラン関連事業

(2) 検討事項

①平成22年度懇話会実践事業について … (資料4)

ア 平成22年度重点推進テーマ 『男女を隔てる意識の解消』

イ 具体的な取組について

(ア) 普及啓発事業について

《事務局説明内容》

・男女共同参画推進のためのちらしの作成・配布について概要を資料4に基づき事務局から説明。

意見>男女共同参画チェックシートですが、市民のための家庭でのチェックシートもあるといいと思う。自分で、そういうチェックができるといいと思う。

意見>よい仕事をするためのストレス耐性度のチェックについて、7番の他人をねたむ、9番の他人を非難する、18番の家庭不和というのは、要点になるのですか。ストレスに強いというのと違うように思うんですが。また、そここのところを教えてください。

意見>ストレスチェックは、点数を書いていくのか。表にしたほうがよいのではないか。

(イ) 第3回男女共同参画フェスティバル&あいち国際女性映画祭について(資料5)

《事務局説明内容》

・第3回男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭の企画概要を資料5に基づき事務局から説明。

《決定内容》

・田原市男女共同参画推進懇話会規約第7条1号に基づき、フェスティバル運営部会を設置。

・部会長に中村都祁子副会長を会長から指名。運営部会委員を選出。

(3) 市女性職員高島屋研修報告 …総務部人事課 伴綾子主任

○昨年1年間、高島屋の人事部の方で研修した。

○今回の研修は、女性の活用ということで、大きなテーマをいただいていた。その先進的な取組をされている企業が高島屋である。

○高島屋の会社概要等説明。女性が多い職場であるので、女性の働く環境を整備しないと、会社が成り立たない。

○育児勤務制度が5パターンから選べる。

○取組は、多様性の享受ということで、女性だけでなく、障害者の方、高齢者の方、男性職員、有期雇用・非正規職員といった方も含め、取組んでいる。

○非正規社員でも研修制度、育児休業・育児休職制度が、ほぼ正社員と変わりなく利用でき、差別をしないように対応している。

○なぜ、女性の活用が必要なのか。

○女性は、結婚・出産・育児によって、その以前の働き方ができなくなることが多い。男女の違いを認め、どのようにサポートしていくか、制度を作っていくかを学んだ。

○働きやすい職場というのが重要視される。

○長時間労働や育児・介護といった問題が出てくる。

○育児求職者をケアすることが、介護休職者・介護休業者のセーフティネットとしての役割を果たすことができるという考えがある。

○働く仕事(地域での仕事、趣味サークル、家庭含む)に対し、意欲を高めてもらうために、ワーク・ライフ・バランスや女性の活用が重要になる。

○ワーク・ライフ・バランスや女性の活用がどうしても重要なのか、とても丁寧に教えている。

○意識の浸透が一番時間のかかるところで、高島屋は本当に時間をかけ、継続して、じっくりと取組まれている。

- 今、自分で自分の働き方と見直すというところに力を入れている。
- 自分で自分のワーク・ライフ・バランスを考えたり、自己管理面で、メンタルヘルスを自分でチェックしたり、個人が個人のこと考えるとといった取組を進めている。
- 意見>産休と取ったりするのは理想だけれども、現実問題、企業がそれでは成り立たない。どこの企業でもギリギリでやっている。そういう人たちは給料が高い。低い給料で使う場合は、予備が置けると思う。高島屋の給与はどうか。
- 回答>基本的に、人に投資する考え方がある。もちろん能力主義ではあるので、働いた分に見合った分だけの評価を得て、それが給与に還元されている。長年育てた優秀な社員、女性に限らず男性でも、休みが取れないからと辞められ、新しい職員を一から育てるコストよりも、休職制度がある方が、会社には利益になるという考えである。
- 意見>学んでこられたことを、どう田原に活かしていけるか、自分がどう思っているか感覚で、できそうなのか、できないのか。
- 回答>意識の醸成ということが、不可欠になってくるので、少しずつですが、ワーク・ライフ・バランスや女性の活用の必要性について、説明会や研修会を開き、そこから、職員同士で普段からコミュニケーションが取れるような、協力体制が取れる環境を整備したい。また、長時間労働の是正という意味で、働きやすい職場のために、お休みを取りやすい形に促進するようなことをとっているが、具体的なプランはない。
- 意見>受け入れ態勢や戻ってきてからの対応はどうか。
- 回答>自分がどう影響していけるか、関わっていけるかということもあるので、チームに相談し、取組めるところから。あと、できればトップの方に強い意志を持って取組んでいただけるといいかなということも思っている。

(4) 意見交換

- 私の周りでは、妊娠して、子供を産むと、使い捨てという企業が多い。だから、子供を産まない。少子化になるのが当たり前という現実を見ている。高島屋のような企業が増えたら、もっと素敵な田原市になるのではないかなと思う。
- 男女がいかに平等で働いていけるか模索している最中。労働雇用環境、優秀な労働者の確保ということで、女性を無視はできない。女性が、いかにキャリアを積んで活躍してもらえる場を設けられるか考えている。
- 更正保護女性会は、保護司の方と一緒に活動することが多い。更正される方へ母親的な立場からということで援助している。
- 男女がともに生涯にわたって、いきいきと安心して暮らせる社会の実現について、勉強していきたい。
- ワーク・ライフ・バランスは、非常に大切なことなので、ファイナンシャルプランナーとして、今年も何回かセミナーをしていきたい。庁内でも、そういうことを勧めてくれるとうれしい。
- 公務員と民間会社では経済感覚が違う。公務員は保障されているという感覚で、民間の人の話を聞くことが必要である。
- 「男女共同参画」を言葉だけでなく、しっかりとやらなくてはいけないと思うが、自分の周りでは、「男女共同参画、何それ」という感じの人ばかり。田舎で農家の人たちの考えは、まだまだ男をたてて、女は一生懸命働く。でも、家庭の中を取り仕切っているのは、女性の力ではないかなと思う。
- 「男女共同参画」本当のところは、どんなことからやるべきなのかと、今年1年考える必要があると思った。
- 日本は貧しい国だと思う。今の時代、余分な経費を使い、精神的な余裕もない。生活できるだけ、稼がないといけなくて、自由な時間がないと思う。
- 啓発パンフレットなどができたときに、何かフォローアップのセミナーなどができるとい

いと思う。

意見>できたら、皆さんでパンフレットをきっかけに、できる方ができる分野でやっていただくことが望ましい。市役所が全部受けてしまうと、何の発展性もなくなってしまう。

○介護というのは、女性の方に支えられてきた。不景気で旦那さんの収入が減り、奥さんがパートに出ると、今まで女性が担ってきた介護の部分というのは、家庭の中でできなくなってきた。家族全体が介護という狭い意味の福祉を担っていかなければ、これからはやっていけない社会だろうと実感している。

○「男女共同参画」が地域の活性化というものにつながるのであれば、本当にどんどん輪が広がっていけばいいなというふうに感じている。

○夫は、20年間家のことに何も参加してこなかったため、今からでは認識が変えられないので、息子や職場の若い男の子などに、もう少し意識を変えていただけるような状況に、私自身がしていきたいし、なっていくといいなと思う。

○田原青年会議所に女性の方を入りたい。本業では、去年、女性の大工さんを採用した。職人は男という感じで思っていたが、職場の雰囲気も華やかになり、現場もきれいになって、職人さんたちの言葉遣いが良くなったので、採用して良かった。

○9月11日に向け、部会委員だけでなく、懇話会の全ての人が結集して、何とか本年度も成功できるように、よろしく願いしたい。

○女性が管理監督者になるには、人づくり、環境づくりが非常に重要。女性も環境だけでなく、自分に厳しく責任を持ってやっていく姿勢でないとなかなかできないと思う。少しずつ人材を育成し、女性の登用を働きかけていく。

○意識啓発も男女関係なくしっかりとやっていかないと、こうした事業もやっていけないと思う。

○やりっぱなしではなく、評価なりフォローアップは、非常に重要なことだと思っているので、内容によって、懇話会の皆さんと評価したり、それぞれの構成団体や組織で状況を確認したりと、評価・フォローアップのやり方を検討したいと思う。

(5) その他

- ・第3次男女共同参画基本計画策定に向けての（中間整理）のポイントの紹介
- ・次回は10月の開催を予定。

- 5 資料 第10回田原市男女共同参画推進懇話会委員出席者名簿・配席表
田原市男女共同参画推進懇話会規約
【資料1】各委員の取組状況報告（委員連絡票）
【資料2】平成21年度田原市男女共同参画推進プラン実績報告
【資料3】平成22年度田原市男女共同参画推進プラン関連事業
【資料4】重点推進テーマ啓発チラシ
【資料5】第3回田原市男女共同参画フェスティバル等の企画概要(案)
【参 考】第3次男女共同参画基本計画策定に向けて(中間整理)のポイント